

令和元年度 第2回社会教育委員会議 会議録

日 時 令和元年10月30日(水)

午後2時 開会

会 場 中央公民館 1階 集会室

出席委員／ 徳丸、山野、新妻、平井、佐藤(則)、松崎、上野、須賀、前野、杉山 各委員
欠席委員／ 佐藤(恵)、佐藤(一)、前川、佐藤(教)、智内 各委員
議事参与者／ 松本教育長、渡部教育部長、加納館長(中央公民館)、岡部館長(東公民館)、
星野館長(西公民館)、野田館長(南公民館)、鈴木館長(北町公民館)、
大山館長(下蔵公民館)、佐藤館長(図書館)、井田館長(旭町公民館・指定管理者)
事務局／ 松永生涯学習スポーツ課長、桑島生涯学習スポーツ課青少年係長、
池澤生涯学習スポーツ課スポーツ推進係長、
竹田生涯学習スポーツ課生涯学習振興係長、深津生涯学習スポーツ課主事、
島袋生涯学習スポーツ課主事

1 開 会 午後2時

2 あいさつ

徳丸 議長

3 前回会議録の承認

承認された。

4 議 事

・報 告

(1) 生涯学習関連行事等について

【資料1】

上記のことについて、事務局から報告があった。

質疑なし。

(2) 埼玉・教育ふれあい賞について

【資料2】

上記のことについて、事務局から報告があった。

質疑なし。

(3) 第36回けやき文化賞について

【資料3】

上記のことについて、事務局から報告があった。

質疑なし。

(4) 第5回(2019年度)蕨市民音楽祭について

【資料4】

上記のことについて、事務局から報告があった。

質疑なし。

(5) 令和元年度後期 文化活動事業助成について

【資料5】

上記のことについて、事務局から報告があった。

質疑なし。

(6) 生涯学習・生涯スポーツに関する市民意識調査について

【資料6】

上記のことについて、事務局から報告があった。

委員： 私は、視覚障がい者のボランティアをしている中で、障がい者の方々になかなか情報が伝わっていないと感じる。そういった方にどのように情報を伝えられるかを模索しているところである。また、市民意識調査の自由記述欄に子連れの方がイベントに参加しづらいと載っていたが、託児を付ける等、子連れの方もウェルカムだというイベントの在り方になって欲しいと思った。

委員： 音楽家にとって、音楽は労働であり、対価が当然発生している。その割にはもっと安くしろという要望がある。その安くしろという要望を、労働者に押し付けないでほしい。要望と対価のギャップは行政の力で補っていただきたい。例えば、蕨市民音楽祭では、最初は蕨市音楽家協会が指導等をしていたので、それなりの対価が発生していた。今年は時期が夏に移ったことに伴って、収入源である演奏会が1つ無くなっている。例年、8月の終わりか9月の頭頃にくるで演奏会が入っていて、11月にも蕨市民音楽祭がある。今年は蕨市民音楽祭が8月31日と9月1日になったので、くるで例年開催している演奏会と、蕨市民音楽祭をひとつにしたらいいのではないかというお達しがあり、蕨市音楽家協会の演奏会が1つ減っている。何かひとつボランティアや仕組みができると、どこかでしわ寄せがきている。今からどうしろということはないが、そういうことがあったと蕨市音楽家協会の会長として言っておく。

事務局： 蕨市民音楽祭の開催時期については、例年、利用したい会場の都合や、市内のイベントとの重なりを考慮して今後も検討していく。

委員： 公民館を知らない人や、音楽関係の企画を知らなかったという意見が多いのであれば、情報提供の設問でSNSを利用している方がこれだけいるので、とりあえずやってみてはどうか。紙媒体で音楽情報紙を作っているが、これ

をどれだけの人が見ているのか。隣の戸田市は教育委員会の情報をフェイスブックで発信しているので、参考にしてみてもどうか。また、地域における課題について、4人に1人くらいの方が防災・防犯に関心を持っている。今年台風被害がすごく、蕨市PTA連合会の会議の直前に台風が来たこともあり、会長達が情報交換をしていた。PTAの会長や役員がSNSで避難所の情報を発信していて、共有できた。また、防災について、PTAは学校とつながりが深いけど、実際に避難所等を開設するとすると、PTAの人は何もできないのかという声が上がっていた。PTA会長の中で地域の防災について話し合うような機運が高まっているので紹介する。

委員： アンケートの自由意見に、ドッジボールの件が書かれていて気になった。1月24日にドッジボール大会が開かれる。例年この時期に、市内のあちこちでドッジボールの練習が行われている。練習にあたって、一番困るのが、ドッジボールのラインが体育館に無いことだ。私が指導していた時代は、練習の際にドッジボールのラインを養生テープで作って、練習の後剥がしていた。1回作るのにテープ代が2,000円くらいかかってしまい、1時間か2時間くらいの練習の都度作業していた。アンケートにも常設をお願いしたいとあるが、小学校の体育館と市民体育館の1面だけでもいいので、ドッジボールラインの常設を本当にお願ひしたい。

委員： ドッジボールについて、放課後子ども教室で体育館を利用する際に、必ずと言っていいほど子ども達はドッジボールをしている。その時には体育館にひいてある別の競技のラインを利用してしまっているが、正式に行うのであれば必要だと思う。また、自由記述欄を読むと、生涯学習・生涯スポーツを今までやっていたが、これからはできないという方が何人かいる。蕨市もだんだんと高齢化してきたと感じる。私が所属しているクラブにも新しい人が入ってこないため、60歳を過ぎた人たちが何とか頑張っている。若い人たちが社会教育関係団体のクラブに入ることが無くなってきているのが寂しい。

委員： SNSでの防災情報発信について、先日の台風の際、自宅にいたが、音が響いてしまって防災無線が全く聞き取れなかったため、他市のSNSを見て確認をしていた。蕨市もSNSをやっているという話も聞いていたが情報発信されていたのか。また、テニスコートの利用について、現状は3日前から申込ができなくなっている。近所に住んでいるので、テニスコートが空いていると使いたいと思う時もあり、当日に利用申し込みができたらいいと思う。また、無料のイベントについて、蕨市は無料のイベントがとても多いと感じているが、アンケートの結果を見るとさらに無料のイベントを増やしてほしいという結果が出ていて驚いている。個人的に、無料のイベントが多いことで、かえってイベントの価値が下がっているような気がする。お客さんがイベントに対する対価を払わなければいけないという意識になった方がいいのではないと思う。無料だといつでも行けるという気持ちになったり、イベ

ントがたくさんあることで、行かなかったりすると思う。また、イベントの日時について、土曜日や日曜日に働いている人から、自分が行きやすい時間にイベントが開催されないという声をよく聞くので、参加者が限定されてしまうかもしれないが、いろいろな日時に開催してみてもどうか。

委員： 防災について、先日の台風の際、前日に、蕨市では学校や体育館を開放しないと連絡があった。実際は避難所が開設されていて、特別に開放するという話だったのか、混乱していたのか。情報を一元化してほしい。

委員： 学校での避難所開設にあたり、PTAは出なくていいのかという話が出た。結局、学校の先生と市の職員が運営してくれて、ありがたかった。ただ、市が全部やってもらえると市民が思っていないか心配である。関連して、蕨市では無料でコンサートが聴けるということが普通になっている。蕨市民は「やってもらえる」という意識が強いと感じる。アンケート結果を見ても、ボランティアをやってみたいが21%、やっているのが7%である。実際にボランティアをできなくてもいいから、やってみたいという方が増えてほしい。現在、いろいろなイベントやサークルは、シニアが元気で参加しているので成り立っているが、10年、20年経つと、同じ姿ではないと思うので、先を見て考える必要があると思う。

委員： 仕事でボランティア活動をサポートしいても、メンバーが減ってしまったとか、若い人が入らないと相談を受けるが、解決策がなかなか無い。少しでも力になればと思い、ボランティア見本市を開催して、そこで新規加入者を募集する機会を作っている。

委員： 全体的な話として、昔は公民館が中心となって、社会教育的な事業を展開していた。それが地域づくり、人づくりの根本であった。若い人が入ってこないためクラブが衰退してしまうなど、次世代につなげるという地域の中のコンセンサスが少なくなっている。個々の活動だけでなく、地域の役に立ちたいと考えている人はたくさんいると思う。昔は公民館が公の機関なので、自分だけではなく、近所や町会などの地域に還元するという考え方があった。今一番問題になっているのは防災である。地域の人と人のつながりが希薄になっていて、安否確認もできていない地域もたくさんある。学んでいる人が公民館の中だけで活躍するのではなくて、それを地域に広げていく方法を行政が何か見つけていかなければ途切れてしまう。息のながい話ではあるが、もう一度社会教育、地域づくり人づくりをもう一度根本的なところを教育委員会と一緒にやっつけていかなければいけないと思っている。

委員： 放課後子ども教室と土曜塾では、保険料だけで参加できるので、参加しやすいと思っていたが、そのせいで逆に親が無責任になっていて、残念に思う。また、防災に関して、緑川が冠水しそうだとひやひやしていて、情報がほしかった。

委員： 放課後子ども教室について、保険料だけで参加できるので、親が子どもをた

だ遊ばせに行かせている傾向がある。参加費が少ないことが、デメリットになっていると感じる。無責任な親は、欠席の連絡をしなかったりするので困る。参加しやすいことは、子どもの居場所づくりにつながっている部分もあるが、疑問に感じることもある。

委員： アンケートの結果を見ると、わらび山荘について、知らない人が多い。市として今後の方針は。

生涯学習スポーツ課長： わらび山荘は、築年数が35年以上となっており、老朽化している。林間学校や子ども会、スポーツ少年団などの青少年健全育成団体が主に利用しているが老朽化が激しく、今後、大きな改修が必要になるため、廃止を含めた検討を行う。

委員： わらび山荘について、自分の団体で毎年使わせてもらっているのですが、なくなると寂しい。代替の場所は無いのか。

生涯学習スポーツ課長： もし山荘が無くなった場合、蕨市とふれあい交流協定を結んでいる片品村、大田原市には施設があるので、ご紹介することはできる。今後、両市町と関係を深めていく中で、どうかかわるかを検討しているところである。また、片品村と大田原市に限らず、青少年団体が宿泊を伴う研修や合宿を行う際には、市の補助があるのでそういったものをご利用いただきながら活動をしてもらいたい。

・協 議

(1) 社会教育関係団体の認定について

【資料7】

2件の認定申請があり、各公民館長及び事務局から説明があった。

～協議の結果、全て承認された
質疑なし。

5 その他

委員： 市民意識調査を今度どのように使うか。

事務局： 全庁的に事業調査を行っており、それを市民意識調査と照らし合わせて、不足している部分や今回ご意見をいただいた部分を補える事業や、情報発信方法、啓発方法を事業担当者会議の議題として検討していく。それをまとめたものを改訂版第3次生涯学習推進計画に掲載させていただき、5年間の目標として蕨市の生涯学習を推進する。

委員： 今の親は何でも学校の先生に任せて、自分の子どもを親がちゃんと見ない傾向が強い。昔は子どもが悪いことをすると、親には内緒にしてくれと先生に泣きついていたが、今は逆に子どもが親に言いつけるといった傾向があり、先生が委縮しておかしいと感じる。

6 閉 会

新妻 副議長

午後3時15分 閉会